

特集

移住者と共に未来へ

中山間地域に吹く新しい風

～NPO法人ムラーク～



たなか いっぺい
田中 一平さん

かど わき きょうへい
門脇 享平さん

ほり とも こ
堀 智子さん



ムラーク
NPO法人 Murark
たなか いっぺい
理事 田中 一平さん



ムラーク
NPO法人 Murark
まめだ もりまさ
理事長 豆田 守正さん

全国的にみても人口の減少がすすむ中山間地域。そんな状況を少しでも改善するため、三瀬村では地元の方と移住してきた方が手を組み、新しい取り組みが始まりました。

美しい緑の中でのレジャーや、そば街道などのグルメで人気の富士町・三瀬村などの中山間地域。しかし少子高齢化・人口減少など地域で抱える課題があります。そのような中、他県からの移住者が中心となり、佐賀市、商工会、地元の人々の協力を得て2016年にNPO法人Murark(ムラーク)が三瀬村に誕生しました。

「県外出身の私から見ると、佐賀は空の広さ、土地や食べ物など、とても豊かで恵まれた場所。だからこそ地域の中で人・資源・お金がしっかり循環する仕組みを作りたい。そのため仕掛けとして地域交流の拠点が必要だと思っただけです。」と語るのは、福岡から移住してムラークを立ち上げた田中さん。空き家となっていた商工会館をリノベーションし『みつせCUBE』としてオープンさせた。ここは、カフェとして利用できるだけでなく、ミニシアターやアートフェスなどのイベントの開催拠点でもあります。今春からは、地域にあるカフェやお店と協力し、人が回遊できるようにレンタサイクル



2階ではミニシアターも



自立・循環型の地域を目指してさまざまな活動をしています

山間部の木くずを燃料にしたベレットストーブの販売



地元アーティストの活躍の場として「まのねアート・ホーム・ハク」



地産地消ワークショップ



チャレンジの場、情報交換の場となっているカフェスペース

もスタート。中山間地域の観光案内や、移住相談なども行っています。そんな彼らを支えるのは、ムラークの代表理事を務める三瀬出身の豆田さん。

「地元の方から、よそ者が何をしたいんだ？なんて声もあります(笑)でも実際に人口は減っていますし、地元の人々と移住者を区別するのはなく、いろいろな人が共生する地域づくりが大切だと思っんです。」と笑顔で語ります。

立ち上げには、地元の方も加わり10名のメンバーで活動をしてきました。そんなみんなの想いがつまった『みつせCUBE』で先日うれしい出来事がありました。この場所を利用して三瀬の方々の同窓会が開かれたのです。これまで同窓会を開く場所が三瀬にはなかったのだとか。「良いことも悪いことも本音で話をしていただく、豆田



地元の人たちとの語らいの場として



レンタサイクルは、おしゃれな自転車観光客に人気!

さんには感謝でいっぱいです。ふるさとに帰省された人たちに、変化していくこの地域を喜んでもらえたら。地域の歴史や文化、受け継がれてきた想いなど、地元の人たちが『本当に守りたいものを守っていく』ために、変えていくことも必要だと思えますので」と田中さん。

「豆田さんはそんな田中さんの姿に感心しているのだとか。みんなの知恵を借りて三瀬について知ってもらい、もつと仲間が増えることを願っています。今年2年目をむかえたムラークは、まだ産声をあげたばかり。移住者と地元住民が手を取り合い未来に向けて、山あいの豊かな地域に、新しい風が吹いています。」

中山間地域は佐賀の誇り。しっかり磨き上げていきます!



山口知事

みんなが集う場

みつせCUBE

地元の皆さんもリノベーションに参加しました!

「つどう、つながる、つくる」をコンセプトにムラークと地元の仲間たちがセルフリノベーションして作ったコミュニティカフェ兼オープンスペースです。ここから地域の元気づくりを目指します!

※県産木材を使って佐賀ならではの木のインテリアをデザインする「さがつく木のインテリア創出事業」を活用しました

NPO法人 Murark/ムラーク
佐賀市三瀬村三瀬2769-1
(みつせCUBE:旧佐賀北商工会三瀬支所)

☎080(5206)6674
ムラークFacebookページ▶